保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年12月3日

事業所名　放課後デイみんと　　保護者等数（児童数）　15　回収数　12　割合　80　%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1	1		・コロナの為、もう一部屋あれば良いなと思いました。	・体育館や屋外の散歩等を取り入れながら狭さを感じさせないように努めていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	1		・職員の人数が足りないのでは？そのために楽しみにしていたイベントが出来ないことがあった。 ・専門性に関しては、外からわかりません。	・残念な思いをさせてしまい申し訳ありません。近隣にて新型コロナウイルスが発症した為に活動行事の縮小を行いました。 ・事業所内で研修等を行い、専門性を高めていくように努めます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12					
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1			・色々な活動をしてもらって楽しそうです。	・ありがとうございます。今後も様々な活動を考えていきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	8	1	1	・コロナの為。 ・わかりません。 ・よくわかりません。	・新型コロナウイルス感染症予防対策の観点より、今年度は機会を設けませんでした。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1		1		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	3				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	3	1	・コロナ禍なので開催は難しいと思います。 ・今はないと思います。	・新型コロナウイルス感染症予防対策の観点より、今年度は機会を設けませんでした。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	3			・特に苦情等はありません。	・ありがとうございます。もし気になる事がありましたらお気軽に声をおかけください。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	2			・連絡ノートにその日の子どもの様子の写真、コピーなど小さくても良いので貼って知らせる日が時々でもあれば嬉しい。子どもとの会話にも繋がるので。	・今後出来る範囲内で検討させていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1				
	14	個人情報に十分注意しているか	10	2				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	1			・わかりません。	・各々のマニュアルは事業所内にありますので、確認したい方はお気軽に声をおかけください。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	5		1		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2			・わかりません。 ・子どもはみんとに行く事をとても楽しみにしています。ありがとうございます。	・ありがとうございます。今後も皆さんが満足する事の出来る活動を提供していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	12				・長期休暇中の通所いつもありがとうございます。安全で安心な預け場所、本当に感謝しております。	・ご意見ありがとうございます。職員一人一人の専門性の向上を目指すように努めます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年12月　3日　　事業所名　放課後デイ　みんと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	・個別活動を行う部屋を設けたり、体育館での活動を取り入れている。	
	2	職員の配置数は適切である	4		・長期休暇時は、職員を増やし対応を行っている。	・長期休暇時は対応する職員が必要。今後も要対応。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			・ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		・外部評価未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	・コロナ対応の為出来る限りで施設内研修をしている。 ・事業所内でスキルアップ研修を定期的に行い始めた。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		・利用者の様子やその時の状況に応じて活動を検討していた。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・毎日ミーティングを行い、活動内容について周知している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・振り返りについては職員の退勤時間が異なる為、後日（翌日等）に改めて行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				・医療的ケアが必要な利用者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		・就学前児においては、保育所や保健課との会議に参加し、その後事業所内で情報共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		・関係機関と連携し、対応を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		・新型コロナウイルス感染状況により、実施していない。	・新型コロナウイルスの感染状況により、今後も対応が難しい可能性がある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4		・事業所としては参加は無いが、法人として参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・連絡ノートの活用や、送り迎えの際に状況をお伝えし、共通理解を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	3	1	・ペアレントトレーニングとまではいかないが、自宅での対応方法についての助言や相談を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・定期的に話を聞いたり、状況に応じて相談支援事業所に情報を提供している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	・新型コロナウイルス対応の為、中止とした。	・新型コロナウイルスの感染状況により、数年は対応が難しい可能性がある。内容について検討していく必要あり。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		・日々話を行う事で、早めに適切な対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		・広報（みんと通信）を年5～6回程度発行し、事業所の様子をお伝えしている。	
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		・利用者に応じて連絡ノートを活用する等行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	・今年度は新型コロナウイルスの為行っていない。	・例年は地域住民が参加する行事を行っているが、新型コロナウイルスの感染状況により、数年は対応が難しい可能性がある。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			・現在食物アレルギーに配慮する利用者はいない。今後必要時は共有していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		・会議に参加した職員が他の職員に伝え、周知を図っている。	